

項目	説明	
試料・情報 の利用 目的 及び 利用方法	研究課題名	卵巣癌組織における低酸素環境応答性タンパク質の発現解析
	研究対象者	卵巣癌と診断された患者さんのうち、2005年1月から2024年12月の間に神奈川県立がんセンターで外科切除手術を受けられた方
	研究目的	癌の組織は血管の形成が不十分なため酸素や他の血液成分の供給が不足する傾向にあります。そのような厳しい環境でも癌の細胞は生き延びる術を有しています。従ってこのメカニズムを理解することは癌の新しい診断方法、治療方法の開発に重要です。申請者らはこれまでに主に卵巣癌についてこの研究テーマに取り組んで来ましたが、本申請では手術で切除された癌組織の検体を用いて実際の卵巣癌の組織では、どのようなタンパク質が酸素等血液成分の不足した環境における癌の生存に大事なのか詳細に検討します。
	研究方法	当センターの病理検査室が保管・管理する病理診断が終了した残余検体を用いて免疫組織化学法、近接ライゲーション法等により癌組織で産生されるタンパク質の量やタンパク質分子間相互作用を測定します。得られたデータを臨床情報と照らし合わせてどのような因子が癌の進展に重要か統計学的に判定します。臨床情報は当院の病院診療科統合データベースにて管理されている情報を用います。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2025年1月22日～西暦 2027年3月31日
利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）	
利用する 試料・情報 の項目 （チェック [X]が入った 項目を利用 します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出したDNA、 [X]病理検体(具体的に記載: <u>外科切除腫瘍組織</u>)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: <u> </u>)
	[]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[X]性別、[]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 []ゲノムデータ、[]看護記録、[X]その他(具体的に記載: <u>生存情報</u>)
試料・情報 を利用 する者の 範囲	当センター研究 責任者	所属・氏名 臨床研究所・小井詰 史朗
	共同研究機関およ び責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・臨床研究所・小井詰 史朗・Tel045-520-2222 (4025) 利用停止のお申し出は2025年2月28日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	